

経営改善及び連携・活用に関する取組評価
(令和7(2025)年度)

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市公園緑地協会		所管課	建設緑政局グリーンコミュニティ推進室
経営改善及び連携・活用に関する方針				
法人の概要	1 法人の事業概要 【公益目的事業】 (1)緑の街づくりの推進及び普及啓発に関する事業 (2)公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業 【公益目的事業の推進に資するために実施する収益事業等】 駐車場及び売店等の経営 2 法人の設立目的 緑の保全と緑豊かな街づくりの推進及び公園緑地の円滑な運営を通して市民に健全な利用の促進、潤いと安らぎのある街づくりを行うことによる地域社会の健全な発展への寄与 3 法人のミッション (1)民有地の緑の保全及び緑化の普及啓発と市民の緑化意識の向上、市民による緑の街づくりの推進 (2)緑のボランティアセンター機能としての、緑のボランティアの育成、活動支援の充実 (3)公園緑地施設等の円滑な運営と健全な利用の増進 (4)行政との協働により、市民の窓口となり市民ニーズを踏まえた多様な事業展開ができる緑の情報発信基地としての機能を果たし、緑豊かな潤いと安らぎのある街づくりに寄与すること			
本市施策 における 法人の役割	市の緑地等に関する事業及び民有地の緑化に関する事業の推進に協力し、公園緑地の円滑な運営及び健全な利用の促進並びに市民の緑化意識の向上を図ることによって緑豊かな潤いと安らぎのあるまちづくりに寄与するとともに、ボランティアセンターとしての機能を付加することで、市民活動拠点として充実させること ・緑のボランティア育成及び持続的な活動の支援 ・民有地に対する助成事業を行い、緑の保全、緑化の推進及び緑化意識の向上 ・公園緑地施設等の管理運営			
	法人の取組と関連する市の計画	市総合計画上関連する政策等	政策	施策
		関連する市の分野別計画	政策3-3 緑と水の豊かな環境をつくりだす	施策3-3-1 協働の取組による緑の創出と育成
現状と課題	【現状】 「川崎市緑の基本計画」に基づき、市民との協働による都市緑化の推進と緑のボランティア活動支援に取り組み、各種講座、イベント等を実施しています。また、公益目的事業の推進、公益財団法人としての自主的な経営に向けて、事業の簡素化、効率化、収益事業の拡充、組織再編等を図り経費削減に努めています。 【課題】 協会は、定款記載の公益財団法人としての目的を達成すべく緑に関する事業を円滑に実施する法人運営をしていきたいと考えています。そのために緑のボランティアセンターとして現在継続している緑のボランティアの育成と支援を行う活動拠点を中心とした事業運営を推進し、多様な主体が参画するグリーンコミュニティの形成を図ることが必要であると考えています。また、等々力緑地再編整備事業の影響を踏まえ、協会自主財源の主である収益事業の減収を見据えて、安定した事業収益の確保と協会事業運営が今後の課題であると考えています。			
取組の方向性	(1)経営改善項目 等々力緑地再編整備事業の影響による事業収益の減収を減減させるため、自販機の増設による収益事業の拡充や等々力陸上競技場を主担当としている職員の人員配置等について調整を行い経営改善に向けて、事業の簡素化・効率化を図ります。 (2)連携・活用項目 「川崎市緑の基本計画」における各施策について、これまでの取組の継続に加えて、以下の観点を踏まえ、法人の役割を確認しながら連携・活用します。 ・緑のパートナーとして多様な主体との連携、促進を図り、「緑育」という視点で、特に次世代を担う子供たちに対する活動支援 ・緑の空間の持続的な保全・創出・育成という観点から、緑化助成制度の更なる普及と充実 ・グリーンコミュニティ形成の観点から、ボランティアセンター機能の活用と身近な公園における多様な主体の参加による取組を踏まえた地域コミュニティ形成、柔軟な利活用			

本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する取組

4カ年計画の目標

○地域社会の健全な発展に寄与するため、緑の保全と緑豊かな街づくりの推進及び公園緑地の円滑な運営を通して市民に健全な利用の促進を図り、潤いと安らぎのある街づくりを行います。

○「緑化推進・普及啓発事業」「緑のボランティア事業(緑のボランティアセンター運営事業)」「公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業」の3つを柱に、川崎市の緑の保全と緑豊かな街づくりを推進し、法人を市民等の緑の活動支援や育成、普及啓発のためのボランティアセンターとしての機能を有する緑の拠点として位置づけ、令和6年度の都市緑化フェアに向けた連携を図りつつ、緑に関する事業運営を推進拡充していきます。

○等々力緑地再編整備事業による影響を踏まえ、経常収支比率の改善及び正味財産額の通減抑制に向けて、収益事業の見直しを実施し自己収入の確保に努めるとともに等々力陸上競技場の職員の人員配置等について調整を行い、効率的かつ安定的な業務を実施できるよう協議、調整をしていきます。また、今後の事業運営のあり方について検討を行います。

1. 本市施策推進に向けた事業取組

取組No.	事業名	指標	現状値 (令和3 (2021)年度)	目標値 (令和7 (2025)年度)	実績値 (令和7 (2025)年度)	単位	達成度 (※1)	本市による評価 ・達成状況 (※2) ・費用対効果 (※3)	今後の取組の 方向性 (※4)
①	緑化推進・普及啓発事業	ホームページアクセス回数	24,722	15,500	14,715	回	c	D	Ⅱ
		緑化推進事業等助成件数	1,443	1,125	486	件	d		
		事業別の行政サービスコスト 本市財政支出 (直接事業費)	48,666 (51,031)	52,729 (55,800)	52,729 (53,968)	千円	2)	(3)	
②	緑のボランティア事業(緑のボランティアセンター運営事業)	各種講座受講者数	2,113	3,950	4,173	人	a	A	Ⅱ
		緑の人材バンク新規登録者数	13	18	34	人	a		
		緑の活動団体新規登録数	6	15	15	団体	a		
		事業別の行政サービスコスト 本市財政支出 (直接事業費)	51,290 (67,850)	51,857 (71,000)	54,784 (54,681)	千円	2)	(1)	
③	公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業	各種イベント等参加者満足度	94	98	99	%	a	A	Ⅱ
		ばら苑来苑者数	68,145	82,000	89,623	人	a		
		事業別の行政サービスコスト 本市財政支出 (直接事業費)	194,596 (187,525)	72,080 (75,080)	145,157 (176,629)	千円	4)	(2)	

2. 経営健全化に向けた取組

取組No.	項目名	指標	現状値 (令和3 (2021)年度)	目標値 (令和7 (2025)年度)	実績値 (令和7 (2025)年度)	単位	達成度	本市による評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	運営の自立性の向上	経常収支比率	106.4	84.3	88.2	%	a	A	Ⅱ
		正味財産額の推移	562,932	428,925	497,423	千円	a		

3. 業務・組織に関する取組

取組No.	項目名	指標	現状値 (令和3 (2021)年度)	目標値 (令和7 (2025)年度)	実績値 (令和7 (2025)年度)	単位	達成度	本市による評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	効率的・安定的な執行体制の構築	常勤役職員の人数	21	17	19	人	b	C	Ⅱ

(※1)【a. 目標値以上、b. 現状値以上～目標値未満、c. 目標達成率60%以上～現状値未満、d. 目標達成率60%未満】

(行政サービスコストに対する達成度については、1). 実績値が目標値の100%未満、2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満、3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満、4). 実績値が120%以上)

(※2)【A. 目標を達成した、B. ほぼ目標を達成した、C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった、D. 現状を下回るものが多くあった、E. 現状を大幅に下回った】

(※3)【(1). 十分である、(2). 概ね十分である、(3). やや不十分である、(4). 不十分である】

(※4)【Ⅰ. 現状のまま取組を継続、Ⅱ. 目標の見直し又は取組の改善を行い取組を継続、Ⅲ. 状況の変化により取組を中止】



法人及び本市による総括

【令和6(2024)年度取組評価における本市の総括コメントに対する法人の受止めと対応】

令和7(2025)年度は、全国都市緑化かわさきフェアのレガシーとなる市民協働によるグリーンコミュニティの形成を促進し、花と緑による豊かなまちづくりと地域の活性化を図る目的で協会は、行政と市民の架け橋となる中間支援組織として活動していくことを踏まえ事業運営を実施してまいりました。

令和7(2025)年度、広報関係においては、広報誌など紙媒体の配布等は継続的にを行いながら、ホームページやSNSなどの電子媒体を活用し、幅広い周知と利便性向上に努めました。各種講座等の申し込みには、全て二次元コードを活用し、さらに講座内では、受講生向けにグループラインによるチャットやノート機能を活用し、講座内容の情報共有とコミュニティの構築につながる取組を開始しました。また、所管局と事業見直しを協議し、フェアのレガシーとなる新たな事業を開始しました。協会人材バンクを活用し、人材バンク登録者がガーデナーリポーターとして市民や団体を対象に花と緑の活動をしている場所に訪問し、取材を行い、記事にまとめ市のホームページに紹介するという事業への取組を開始しました。

今後は、市民による公園の利活用を支援し、グリーンコミュニティの形成に向けた新たな「協働の取組」の担い手を育てる中間支援組織として職員のさらなる意識改革を進めるとともに、市内の様々な事業へ対応できるよう川崎市が進めるPPPプラットフォーム事業(官民連携)やパークPFI・プロポーザルにも参画できるよう職員のスキルアップを図ってまいります。令和7(2025)年度は、これらに対応できるよう組織再編を行い3課体制を構築し各事業運営を行いました。

【令和7(2025)年度を含む4か年の取組評価の結果を踏まえ、本市が今後法人に期待すること、対策の強化を望む部分など】

広報手段として従来型の各種紙媒体の配布に加え、各年度の成果を踏まえながら、ホームページやSNSなどの電子媒体を活用した幅広い周知に努め、継続的に緑化推進・普及啓発事業向上に努めたこと、また、協会の全ての講座の周知と申込み等において二次元コードの活用等を行うなど工夫を重ね講座受講者数の確保と利便性向上に取り組んだことは評価します。

また、この4か年の計画的な取組において各種事業を着実に進めるとともに持続的な体制づくりに取り組み、令和6(2024)年度に開催された全国都市緑化かわさきフェアの趣旨も踏まえ、具体的な事業として協会人材バンクを活用し、人材バンク登録者がガーデナーリポーターとして市民や団体を対象に市内の花と緑の活動を紹介するという緑化フェアのレガシーを意識した事業を開始するなど市民の緑化意識の向上を図る取組を実施したことは評価します。

これまで、本市の公園等の管理運営は、地域住民等との「協働の取組」により支えられてきましたが、活動団体の高齢化等の課題を抱え、活動の持続性が危ぶまれています。そこで、本市では多くの市民の公園利用を促し、公園に親しんでもらい、グリーンコミュニティの形成に向けた新たな担い手確保に繋げる取組を進めています。この取組を踏まえて、今後、「協働の取組」を持続的なものにするには、公園利用者を繋ぎ、まとめ、育てる、中間支援組織が不可欠であり、その担い手には、公園緑地協会がこれまで培ってきた地域との繋がりが、みどりに関する技術的ノウハウはアドバンテージになると考えています。一方で公園の魅力発信、公園利用者間の活動や取組を連携させることなど、中間支援組織が果たすべき役割は多岐に渡り、これまでの公園緑地協会の活動の範囲を超えるものもあります。公園緑地協会には、等々力緑地再編整備事業の影響や全国都市緑化かわさきフェア開催によるみどりへの関心の高まりを踏まえ、安定的な運営に向けた収益確保を進めるとともに、全国都市緑化かわさきフェアでの催事の実施などの様々な事業参画の経験値も活かし、行政と連携し、市民ニーズを踏まえた多様な事業展開ができるみどりの情報発信基地としての機能を果たし、みどりのまちづくりに寄与することを期待します。

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局グリーンコミュニティ推進室
----------	------------------	-----	--------------------

1. 本市施策推進に向けた事業取組①(令和7(2025)年度)	
事業名	緑化推進・普及啓発事業
計 画 (Plan)	
現状	緑化推進・普及啓発事業等を広報する媒体として広報誌・チラシ・パンフレット・タウン紙等の発行からフェイスブックやホームページの活用まで幅広い広報活動を展開し、緑化推進・普及啓発事業(思い出記念樹・緑化助成金等)を周知することにより、地域の緑化と市民の緑化意識の高揚を図るとともに、花と緑あふれる潤いのある街づくりに努めています。
行動計画	広報誌・チラシ・パンフレット・タウン紙等の紙媒体からホームページなどの電子媒体を幅広く活用し、更にフェイスブック等により、リアルタイムに情報を提供、共有するとともに、広く市民に緑化推進・普及啓発事業(思い出記念樹・緑化助成金等)を周知し拡充することに努めます。
具体的な取組内容	【指標1関連】 ホームページやチラシなどへの二次元コードの活用を継続し、各種講座・教室等への新規・継続の申込みの利便性を高めるとともに、見やすさを重視したデザインと、スマートフォン対応型のホームページの内容を充実させ、利便性向上を図ります。また、フェイスブックを幅広く活用し、リアルタイムな情報発信を行い、詳細な情報はホームページに掲載するなどして、ホームページアクセス数増に努めます。さらに、4月から川崎市緑化センターの指定管理者としての事業運営開始に合わせて、お互いをリンクさせ、協会・緑化センターのPRと市民協働による花とみどりに関する各種講座・教室・イベント等の実施や取組をホームページ内で発信し、アクセス数拡充に努めます。 【指標2関連】 広報誌・HP・チラシ・パンフレット・タウン誌など紙媒体と電子媒体を組み合わせた広報を継続し、また、市・協会・緑化センター主催のイベント等で配布することで、協会の公益目的事業である緑化推進・普及啓発事業(思い出記念樹・生垣づくり・屋上・壁面緑化等)の周知を図り、各種助成件数の拡充に努めます。

実施結果 (Do)	
本市施策推進に向けた活動実績	【指標1関連】 令和7(2025)年度は、ホームページやチラシ等に二次元コードの活用を継続し、各種講座・教室等への申込みの利便性を高めるとともに、スマートフォン対応型のホームページの見やすさや内容を充実させ、利便性向上を図りました。また、フェイスブックなどのSNS等を幅広く活用し、リアルタイムな情報発信を行い、詳細な情報はホームページに掲載するなど、アクセス数向上に努めました。さらに、4月から川崎市緑化センターの指定管理者として事業運営の開始に合わせて、トップページに生田緑地ばら苑と川崎市緑化センターを配置し、両施設のPRと花と緑に関する各種講座・教室・イベント等の募集や実施情報などを発信しました。また、SNSの活用として、令和7(2025)年度からグリーンコミュニティに関する新規講座内で受講生向けにグループラインのチャットやノート機能による情報の共有化などを試行的に実施しました。また、コロナ禍で中止していた花と緑のボランティアを一堂に会した交流会を開催し、交流会の模様等をフェイスブックやホームページで動画配信を行いホームページを通じてボランティア活動の情報提供や周知に努めました。 【指標2関連】 広報誌・HP・チラシ・パンフレット・タウン誌などの紙媒体と電子媒体(二次元コードの活用等)を組み合わせた広報を継続するとともに、市・協会・緑化センター主催のイベントでチラシ等を配布することで、緑化推進・普及啓発事業(思い出記念樹・生垣づくり・屋上・壁面緑化等)の周知を図り、各種助成件数の拡充に努めました。 思い出記念樹については、令和6(2024)年10月から、賀寿など幅広い配布対象から、将来を担うこどもたち・子育て世代に絞るなどの変更を行いました。その結果、賀寿等を配布対象外としたことにより、令和7(2025)年度の配布数は484本と従前より大幅に減少しましたが、変更後も配布対象である出生・入園・入学に限って比較すると、令和5(2023)・6(2024)年度より40本から80本多く配布する結果となりました。(R5:446本・R6:395本)

評価 (Check)									
本市施策推進に関する指標			目標・実績	R3年度 (現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	ホームページアクセス回数		目標値		15,200	15,300	15,400	15,500	回
	説明	協会ホームページアクセス回数	実績値	24,722	29,301	13,367	16,936	14,715	
2	緑化推進事業等助成件数		目標値		1,090	1,115	1,120	1,125	件
	説明	緑化推進事業等を目的に行う各種助成総件数(思い出記念樹・生垣づくり・駐車場緑化・屋上・壁面緑化)	実績値	1,443	1,270	1,142	1,073	486	
指標1 に対する達成度			C	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
指標2 に対する達成度			d						
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)									
指標1については、令和7(2025)年度は、ホームページやチラシ等に二次元コードの活用を継続し、各種講座等の申込みなどの利便性を高めるとともに、フェイスブックなどのSNS等を幅広く活用し、講座等で受講生向けにグループラインのチャットやノート機能による情報の共有化を図るなどリアルタイムな情報発信を行いました。また、幅広く周知が図れるようスマートフォン対応型のホームページの見やすさと内容を充実させました。さらに、コロナ禍で中止していた花と緑のボランティアを一堂に会した交流会を実施し、その模様等をフェイスブックやホームページで動画配信を行いボランティア活動の情報提供や周知に努めました。これらの取組により情報発信の充実を図ったものの、アクセス数の目標値は、達成することはできませんでした。主な要因は、令和6(2024)年度フェアを含めた一般開放期間(春・秋47日)と令和7(2025)年度ばら苑一般開放期間(春・秋37日)の開苑情報に関するアクセス数の減少(4月から11月のアクセス数約130件減)、小中学生対象のポスター・標語コンクール及びわがまち花と緑のコンクールの終了に伴う影響が考えられます。(令和6(2024)年度2つのコンクール関連アクセス数約3,000件) 指標2については、広報誌・HP・チラシ・パンフレット・タウン誌などの紙媒体と電子媒体(二次元コードの活用等)を組み合わせた広報を継続するとともに、市・協会・緑化センター主催のイベントでチラシ等を配布することで、緑化推進・普及啓発事業(思い出記念樹・生垣づくり・屋上・壁面緑化等)の周知を図り、各種助成件数の拡充に努めましたが、目標を達成することができませんでした。思い出記念樹については、賀寿等の終了に伴い大幅な減少となりました。今後もホームページやSNSを活用した広報と直接配布(チラシ・パンフ等)を併用して、積極的に推進してまいります。									
本市による評価	達成状況		区分		区分選択の理由				
			A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った		D 事業内容の見直し等の影響により、指標1、指標2ともに目標値は達成できませんでした。引き続き配布対象となっている思い出記念樹の出生・入園・入学については令和5(2023)・6(2024)年度の実績を上回るなど、ホームページ等での周知強化の取組などにより、成果が上がった部分もあったため。				
行政サービスコスト			目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト		目標値		52,000 (55,600)	52,729 (55,800)	52,729 (55,800)	52,729 (55,800)	千円
	説明	本市財政支出(直接事業費)	実績値	48,666 (51,031)	52,729 (52,947)	51,028 (51,490)	52,729 (54,271)	52,729 (53,968)	
行政サービスコスト に対する達成度			2)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上					
法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)									
令和7(2025)年度については、昨今の物価の高騰(消耗品・人件費)などにより補助金の予算範囲内で事業運営を行うのが大変厳しい状況ではありましたが、今後も直営によるマルチタスク化と工夫を重ねた事業運営を行い経費削減に努めてまいります。 なお、令和6(2024)年度に比べて令和7(2025)年度の直接事業費は減少いたしました。									
本市による評価	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価)		区分		区分選択の理由				
			(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である		(3) 事業内容の見直しの影響により、指標1、指標2ともに目標値は達成できませんでした。市民ニーズに適した緑化推進・普及啓発事業の進行に一定の成果が見られたため。				

改 善（Action）		
実施結果(Do) や評価(Check) を踏まえた 今後の取組の 方向性	方向性区分	
		方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	II 緑化推進・普及啓発事業を広報する媒体広報誌・チラシ等の発行とホームページ・SNSの活用を通して事業展開を推進してまいります。また、所管局と連携を図り事業の見直しと取組の改善を行ってまいります。また、フェアをレガシーとした新たな「コミュニティガーデン入門講座」やボランティアを活用した「はなまちガーデンリポート事業」などを本格的に実施するとともに、中間支援組織として新たな事業展開にも参画し、ホームページ内で新たな事業紹介やフェイスブックなどのSNS等を幅広く活用して令和8(2026)年度以降の指標を達成できるよう努めてまいります。

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局グリーンコミュニティ推進室
----------	-----------------	-----	--------------------

本市施策推進に向けた事業取組②(令和7(2025)年度)	
事業名	緑のボランティア事業(緑のボランティアセンター運営事業)
計 画 (Plan)	
現状	グリーンコミュニティ形成に向け、緑のボランティアの育成と活動団体の支援を図り、応募方式等による各種講座・出前講座等を開催し、緑のボランティアの育成と技術向上を図るとともに、講座修了者に協会人材バンク(令和2年度206人)への登録と緑の活動団体(令和2年度268団体)新規登録を推進し、市民の緑化意識向上に努めています。
行動計画	緑のボランティア育成と活動支援を目的とした各種講座・出前講座等の内容の充実を図り、受講者数を増やすとともに、受講者の技術向上を推進します。そして講座修了者を協会人材バンクに登録し、各種イベントボランティアや各地域で活躍できる人材育成を行うことにより緑の活動団体の新規登録を増進し、市民の緑化意識向上に努めます。また、身近な公園等における、多様な主体の参加による取組を踏まえた地域コミュニティの形成を進めます。
具体的な取組内容	【指標1関連】 各種講座(里山ボランティア育成講座・子ども黄緑クラブ)の内容の充実や工夫を図り、受講者の増加に努めます。また、「全国都市緑化かわさきフェア」のレガシーとして新たに地域で楽しめるコミュニティガーデンについて学べる入門講座を開催し、新たな人材確保と裾野を広げ、ボランティア拡充に努めます。そして全ての講座申込みで二次元コードを導入することで、スマートフォンによる申込みの周知と利便性を向上させ、若い世代や親子が参加しやすくなるよう工夫を図り、高齢者の方々にもわかりやすい案内となるように配慮し、効率的な事業運営に努めます。 【指標2関連】 各種講座の内容を充実させることにより受講者数を増やし、講座(コミュニティガーデン入門講座・里山ボランティア育成講座)期間中に人材バンクの良さやお手伝いの内容等を紹介するなど工夫を図り、更に登録の促進に向けた働きかけを継続的にを行い、講座修了者の人材バンクへの新規登録者数増に努めます。 【指標3関連】 令和7(2025)年度も、各区で開催されている公園愛護会や管理運営協議会の総会等に出席し、緑の活動団体の説明やPRを積極的に展開し、新規登録数増に努めます。また、ホームページやフェイスブックで出前講座や活動支援の模様を公開し、緑の活動団体の紹介や登録方法、助成制度等の説明を充実させ、リーフレット等を作製し、市内公共施設等に配付して緑の活動団体新規登録への周知拡充に努めます。 公園愛護会や管理運営協議会の方々や直接的な交流を図り、協会が進める事業のPRと緑の活動団体の周知を行い、新規登録数増に繋げてまいります。また、市主催のイベントや協会事業の出前講座・活動支援等に人材バンクのボランティアを派遣する機会を増やし、現場での技術指導や経験を積むことにより、ボランティアのスキルアップと地域で活躍できる人材育成を図り、新規登録数増に繋がる取組も継続して行ってまいります。

実施結果 (Do)	
本市施策推進に向けた活動実績	【指標1関連】 令和7(2025)年度は、既存の講座と新たに開始した講座全てにおいて二次元コードを導入することで、スマートフォンによる申し込みや情報提供等の利便性を向上させました。一部、FAXやはがきによる申し込みも継続することで高齢者の方々にもわかりやすい案内等に配慮し、安心安全で効率的な事業運営に努めました。またフェアのレガシーとなる市民協働によるコミュニティガーデン入門講座を実施し、多くの初心者の方々に受講していただきました。講座の中では、講師への質問や振り返りができるようSNSを活用し、グループラインでのチャットやノート機能による情報の共有化を試行したところ好評をいただき、コミュニティの形成に繋がりました。フェアの影響もあり、既存の里山ボランティア育成講座や子ども黄緑クラブにも初めての受講者が少しづつ増加してきました。また、学校での花と緑に関する総合学習にも積極的に取り組むことができ、令和7(2025)年度は、目標値を達成することができました。 【指標2関連】 令和7(2025)年度も継続して里山ボランティア育成講座及びコミュニティガーデン入門講座の修了者を対象に、協会人材バンクへの登録の働きかけを行いました。各講座においては、人材バンク登録者を活用し、先輩として受講生を指導することにより自分のスキルアップを図るとともに、人材バンクの必要性や活動の楽しみ方などを伝えていただき、登録促進につなげました。また、定期的に人材バンク研修を行い登録者のスキルアップも継続して行いました。これらの取組の効果により令和7(2025)年度は、目標値を達成することができました。 【指標3関連】 令和7(2025)年度も市主催のイベントや事業、公園愛護会・管理運営協議会への出前講座や活動支援等にも人材バンク登録者を派遣し、ボランティアのスキルアップを図るとともに、地域での活動団体のリーダーとして活躍できる人材の育成を行い、活動団体登録につなげる取組を継続して行いました。また、令和7(2025)年度から、はなまちガーデンリポート事業と題し、人材バンク登録者を中心としたリポーターが、市内で花と緑に取り組んでいる個人や団体を訪問取材し、その内容を川崎市のホームページに掲載する事業を開始しました。令和8(2026)年度から本格的に実施する予定です。

評価（Check）									
本市施策推進に関する指標			目標・実績	R3年度 (現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	各種講座受講者数		目標値		2,500	3,850	3,900	3,950	人
	説明	緑のボランティア育成と活動支援を目的に協会が主催する各種講座受講者数	実績値	2,113	2,839	4,284	2,924	4,173	
2	緑の人材バンク新規登録者数		目標値		13	16	17	18	人
	説明	イベントの講師、花と緑の相談員、出前講座、活動支援等に活用する人材バンクの新規登録者数※R4個別設定値:12(現状値の95%)	実績値	13	27	24	20	34	
3	緑の活動団体新規登録数		目標値		12	13	14	15	団体
	説明	各地域で里山整備や花壇・プランター等を活用して花と緑のボランティア活動を行う団体の新規登録数	実績値	6	14	8	5	15	
指標1 に対する達成度			a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
指標2 に対する達成度			a						
指標3 に対する達成度			a						
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)									
指標1については、既存の講座や新規の講座への二次元コード活用の効果や、緑の活動団体及び学校関係の総合学習への積極的な取組と人材バンク登録者の活用等により、令和7年度は、目標値を達成することができました。 指標2については、各種講座に人材バンク登録者を活用することにより登録者のスキルアップと受講者とのコミュニティ形成を図るとともに、講座内で緑のボランティアの必要性を周知するなど人材バンク新規登録者への働きかけを継続的に取り組んだことにより、令和7年度は、目標値を達成することができました。 指標3については、令和7(2025)年度も市主催のイベントや公園愛護会・管理運営協議会への出前講座や活動支援等にも人材バンク登録者を派遣し、ボランティアのスキルアップと地域での活動団体のリーダーとして活躍できる人材育成を行い、活動団体登録につなげる取組を継続して行った結果、目標値を達成することができました。									
本市 による評価	達成状況		区分		区分選択の理由				
			A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った		A 継続的かつ積極的な働きかけにより、全ての指標の実績値で目標値を達成したため。				
行政サービスコスト			目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト		目標値		49,230 (70,900)	51,857 (71,000)	51,857 (71,000)	51,857 (71,000)	千円
	説明	本市財政支出(直接事業費)	実績値	51,290 (67,850)	51,857 (65,655)	52,784 (68,213)	54,551 (58,936)	54,784 (54,681)	
行政サービスコスト に対する達成度			2)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上					
法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)									
令和7(2025)年度については、昨今の物価の高騰などにより補助金の予算範囲内で事業運営を行うのが大変厳しい状況ではありましたが、今後も直営によるマルチタスク化と工夫を重ねた事業運営を行い経費削減に努めてまいります。 また、令和6(2024)年度に比べて令和7(2025)年度の直接事業費が減少したのは、組織再編による課内の人員配置変更によるものです。									
本市 による評価	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価)		区分		区分選択の理由				
			(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である		(1) 組織再編による課内の人員配置により、令和6(2024)年度に比べて直接事業費が減少した上で全ての指標で目標値を達成したため。				

改 善（Action）		
実施結果(Do) や評価(Check) を踏まえた 今後の取組の 方向性	方向性区分	
		方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	II 今後も、花と緑やコミュニティの視点を加えた各種講座・出前講座・活動支援等の内容の充実と技術向上を図り、受講者数を増やしてまいります。これらの取組から人材バンクや活動団体の新規登録に繋げるとともに、人材バンクの登録者を活用することで地域のグリーンコミュニティの形成を促進し、花と緑による循環機能が地域のまちづくりに寄与できるように努めてまいります。また、所管局とも連携しながら事業の見直しと精査を継続し、事業の改善に取り組んでまいります。 そして、令和8(2026)年度以降の指標については、毎年団体登録数が増減いたしますので、緑の活動団体の新規団体登録数ではなく活動団体総数を目標値といたします。

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局グリーンコミュニティ推進室
----------	-----------------	-----	--------------------

本市施策推進に向けた事業取組③(令和7(2025)年度)	
事業名	公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業
計 画 (Plan)	
現状	収益事業(売店・自動販売機・駐車場)を財源として、独自に展開している各種イベント(自主事業)を実施し、公園緑地及び運動施設並びに生田緑地ばら苑等の利用促進と緑化意識向上に努めています。
行動計画	収益事業の収益を財源として花と緑を中心とした各種イベントを実施し参加者満足度を高め、公園緑地の利用促進と緑化意識の向上と推進、拡充を図ります。開催するイベント等の内容を充実させ、公園緑地、運動施設、ばら苑の魅力を周知し利用者の拡充に努めます。
具体的な取組内容	【指標1関連】 既存の自主事業(ばらの講習会、ばらの写真展、野外ライブコンサート、ボランティアガイド)の充実を図り、参加者満足度向上の継続に努めます。また、「全国都市緑化かわさきフェア」のレガシーとなるグリーンコミュニティ形成の推進に向け、市内の公園緑地等において「プレイグリーンパーク」と題して、木材を活かした遊具などで親子が自由に遊べるイベント等を開催し、公園緑地の活性化を図るとともに、コミュニティの形成に努めます。 【指標2関連】 ばら苑来苑者数の拡充を図る目的として、春・秋一般開放時に実施している既存の各種自主事業のほかに「全国都市緑化かわさきフェア」の期間中に取り組んだ市民ブースの企画実施を継続するとともに、市民協働による事業運営を通してばら苑の来苑者増に努めます。また、収益事業では、期間中のキッチンカーも継続出店し、収益確保と来苑者増に繋がるような来苑者サービスの向上に努めます。

実施結果 (Do)	
本市施策推進に向けた活動実績	【指標1関連】 令和7(2025)年度は、生田緑地ばら苑一般開放が暫く休止となる最後の年でした。ばら苑では既存の自主事業であるばらの講習会・ばらの写真展・野外ライブコンサート・苑内ボランティアガイドのほかフェアで好評をいただいた市民ブースを設置し市民協働によるグリーンコミュニティの形成に繋がる取組を実施し、ばら苑のフィナーレを飾ることができました。来苑者の市民の皆様にも楽しんでいただき、参加者満足度も目標を達成することができました。 【指標2関連】 令和7(2025)年度は、ばら苑一般開放時に実施する協会主催の各種自主事業も趣向を凝らし取り組み、令和6(2024)年度から継続した市民ブースも好評で多くの市民の皆様に来苑していただきました。また、ばら苑ボランティアの日頃のお手入れのおかげで最終日までバラをきれいに咲かせることができました。そして、期間中キッチンカーによる飲食を提供しながらバラを楽しんでいただき、収益確保に努めました。ばら苑全てに携わる方々のおかげで、来苑者数も増えて目標を達成することができました。

評価（Check）									
本市施策推進に関する指標			目標・実績	R3年度 (現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	各種イベント等参加者満足度		目標値		95	96	97	98	%
	説明	風揚げ大会、ばら苑講習会、花と緑の講習会などの参加者満足度	実績値	94	98	99	99	99	
2	ばら苑来苑者数		目標値		74,500	81,000	81,500	82,000	人
	説明	生田緑地ばら苑における春・秋の一般開放の来苑者数	実績値	68,145	76,768	68,824	90,853	89,623	
指標1 に対する達成度			a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値（個別設定値）以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値（個別設定値）未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
指標2 に対する達成度			a						
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)									
令和7(2025)年度は、生田緑地ばら苑春秋の一般開放の休止となる最後の開苑となる中、ばらの講習会・ばらの写真展・野外ライブコンサート・苑内ボランティアガイド・市民ブースの設置などたくさんのイベント等を開催し、多くの市民の皆様楽しんでいただき、参加利用者満足度及び来苑者数も目標を達成することができました。イベント等も市民協働による手作りによるものを実施し、経費削減に努めました。また開苑中は、キッチンカーによる飲食を提供しながら、バラを楽しんでいた (令和6(2024)年度春・秋開苑期間49日間：令和7(2025)年度春・秋開苑期間37日)									
本市による評価		達成状況	区分		区分選択の理由				
			A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A	市民の方とともに実施に向けて取り組んだことにより、指標1及び2は目標値を達成したため。				
行政サービスコスト			目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト		目標値		196,827 (200,246)	72,080 (75,080)	72,080 (75,080)	72,080 (75,080)	千円
	説明	本市財政支出（直接事業費）	実績値	194,596 (187,525)	202,777 (190,091)	80,055 (98,038)	86,613 (116,950)	145,157 (176,629)	
行政サービスコスト に対する達成度			4)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上					
法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)									
令和7(2025)年度は、川崎市緑化センターの指定管理事業初年度受託料の増加と生田緑地ばら苑の春秋一般開放に伴う事業費（警備委託費用等）の物価高騰による経費の増加に伴い行政サービスコストは、増となりました。生田緑地ばら苑春秋の一般開放は、休止となる最後の開苑となりましたので、野外ライブコンサートやボランティアガイド、バラの講習会、市民ブースの設置などたくさんのイベント等を開催し、多くの市民の皆様楽しんでいただき、参加利用者満足度もアップし来苑者数も目標値を達成することができました。イベント等も市民協働による手作りによるものを実施し経費削減に努めました。また開苑中は、キッチンカーによる飲食を提供しながら、バラを楽しんでいたいただき収益確保に努めました。									
本市による評価		費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価)	区分		区分選択の理由				
			(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	(2)	新たな指定管理事業の実施などに伴い、行政サービスコストは増加していますが、生田緑地ばら苑春秋の一般開放は、緑化フェアでの経験を活かした市民協働によるイベント等様々な取組を実施し、来園者から好評を得るなど休止となる最後の開苑に相応しい取組であったため。				
改善（Action）									
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分		方向性の具体的内容						
	Ⅰ. 現状のまま取組を継続 Ⅱ. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 Ⅲ. 状況の変化により取組を中止		Ⅱ	令和7(2025)年度生田緑地ばら苑一般開放の休止に伴い最後の自主事業(コンサート・講習会・ガイド等)を実施し、参加者満足度及び来苑者数の目標値を達成することができました。令和8(2026)年度からは、緑化センターにおける来園者数と各種イベント等の参加者満足度の目標値を達成できるよう自主事業の見直しを図りながら、市民の皆様満足いただける内容を提供してまいります。また、業務の効率化や経費削減にも継続して取り組んでまいります。					

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局グリーンコミュニティ推進室
----------	-----------------	-----	--------------------

2. 経営健全化に向けた取組①(令和7(2025)年度)	
項目名	運営の自立性の向上
計 画 (Plan)	
現状	コロナ禍となる前では、経常収支比率は100%を超え、正味財産額も堅調に推移していましたが、令和2年度においては、緊急事態宣言下におけるイベントの中止や駐車場の一時閉鎖に伴い駐車場等事業収益が令和元年度と比較し約5千万円の減収となりました。また、令和5年度から等々力緑地再編整備事業の影響により、駐車場等事業収益の大幅な減収が見込まれるなか、市財政支出割合が高くなる傾向にならないように、新たに収益を確保できる事業を推進し、川崎市からの財政支出割合を低減するように努めています。
行動計画	今後4ヶ年における安定した協会事業運営を行うために、目標値の通減抑制に向けて、自販機の増設など収益事業による自己収入の確保に努めるとともに、等々力陸上競技場を主な業務として担当している職員の人員配置の整理など経費削減策についても継続して検討を行い、公益事業を行える組織体制の構築と経営健全化に伴う財政構造の確立に努めます。
具体的な取組内容	【指標1関連】 所管局と協議を重ね事業の見直しと効率化に取り組み、経費削減を継続して行います。また、川崎市緑化センターの指定管理者として事業運営を開始し、経営の健全化が図られるように努めます。 収益事業では、今年度も所管局と情報共有し、各区道路公園センターの協力を得ながら、自動販売機の新規設置拡充を図ります。また、新規駐車場の運営を目的に市内各区の公園緑地や道路予定地などを調査研究し、収益確保に向けた取組に努めます。 【指標2関連】 みどり事業、収益事業の見直しと効率的な事業運営に努めるとともに、指定管理事業や入札事業、P・PFI事業への参入を目的に川崎市のPPPプラットフォームセミナー・勉強会・意見交換会に参加し、経営の安定化と持続可能な組織運営に向けた取組を推進し、正味財産減少の抑制に努めます。

実施結果 (Do)	
経営健全化に向けた活動実績	【指標1関連】 令和7(2025)年度は、引き続き所管局と事業の見直しを行い事業の効率化に取り組み、事業収益増と経費削減に努めました。また、川崎市緑化センターの指定管理者として事業運営を開始したことに伴い、事業規模・内容に照らして過大な人件費が生じないよう適切な人員配置を行うことにより、経営健全化に努めました。 収益事業では、所管局や各区道路公園センターの協力を得ながら、自動販売機の新規設置拡充を図り、7区の管理運営協議会総会に参加し自動販売機設置に向けた説明、チラシの配布などを実施しました。また、新規駐車場の事業運営を目的に市内各区の公園緑地などを調査研究し、所管局に取りまとめた書面を提出し、協議を開始しました。 【指標2関連】 令和7(2025)年度は、指定管理事業や入札事業、P・PFI事業への参入を目的に川崎市のPPPプラットフォームセミナー・勉強会・意見交換会に参加し、事業獲得と経営の安定化並びに持続可能な組織運営に向けた取組を行いました。そして、所管局の中間支援事業のプロポーザルに応募しましたが、僅差で獲得することができませんでした。令和8(2026)年度に向けて再度応募する準備を開始しました。

評価（Check）									
経営健全化に関する指標			目標・実績	R3年度 (現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	経常収支比率		目標値		105.7	84.2	84.3	84.3	%
	説明	事業活動の結果である経常収益とそれに費やした経常費用の割合	実績値	106.4	111.0	85.2	90.2	88.2	
2	正味財産額の推移		目標値		561,502	517,208	473,099	428,925	千円
	説明	出捐者から受け入れた指定正味財産額と本業から得られた過年度経常収支差額の合計額	実績値	562,932	612,768	569,325	539,730	497,423	
指標1 に対する達成度			a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
指標2 に対する達成度			a						
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)									
指標1・2については、令和7(2025)年度は、引き続き収益確保に努めるとともに、所管局と事業見直しを実施した効果により事業収益は、増加しました。一方事業経費については、各事業に係る経費削減に努め、目標値は達成しましたが、事務所移転に伴う旧事務所解体費用と仮事務所への引越し費用等の影響で令和6(2024)年度の実績値を上回ること出来ませんでした。									
本市による評価 達成状況 区分 A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った A 区分選択の理由 収益確保、事業見直し等により、指標1の経常収支比率が目標値を上回るとともに、一般正味財産の減少額を最小限にとどめることで指標2の正味財産額の推移において、目標値を上回ったため。									
改善（Action）									
実施結果(Do) や評価(Check) を踏まえた 今後の取組の 方向性	方向性区分		方向性の具体的内容						
	Ⅰ. 現状のまま取組を継続 Ⅱ. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 Ⅲ. 状況の変化により取組を中止		Ⅱ 令和8(2026)年度以降も指定管理事業や中間支援事業並びに公園緑地に関する新規事業へ参入できる体制を構築するとともに事業獲得に向けた勉強会、講習会など職員研修にも積極的に取り組んでまいります。また、自主財源である収益事業(売店・自販機・駐車場等)拡充に向けた取組を推進するとともに持続可能な組織運営と経営の健全化、財源の確保に努めてまいります。						

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局グリーンコミュニティ推進室
----------	-----------------	-----	--------------------

3. 業務・組織に関する取組①(令和7(2025)年度)	
項目名	効率的・安定的な執行体制の構築
計 画 (Plan)	
現状	令和3年度は常勤役員2名及び常勤職員19名の計21名で事業運営業務を行っています。
行動計画	公益的目的事業の推進をするにあたり、緑のボランティアの育成と支援を行う活動拠点を中心とした事業運営を実施します。その上で等々力緑地再編整備事業の実施に伴い、等々力陸上競技場を主な業務として担当している常勤職員について、退職者の不補充により少なくとも3名の削減をするなどの適正な人員配置計画の策定を行い、協会組織のスリム化を図るとともに、当該計画に基づき、引き続き、効率的かつ安定的な業務遂行に努めます。
具体的な取組内容	協会の経営の健全化と組織体制の構築に向けた検証を継続して行い、所管局と協議を重ね、事業の見直しと効率化に取り組み、適正な人員配置に努めます。今年度は、川崎市緑化センターの指定管理者として運営を開始し、また「全国都市緑化かわさきフェア」のレガシーであるグリーンコミュニティ形成の推進に向け、協働の取組における担い手確保に重要となる中間支援組織として、これまでのノウハウとボランティア人材などを活用し、新たな事業の確保と推進を行うことにより、組織体制の強化と安定した持続可能な事業運営ができる組織再編に努めます。

実施結果 (Do)	
業務・組織に関する活動実績	【指標1関連】 令和5(2023)年度から始まった等々力緑地再編整備事業に伴う事業見直し、組織再編、人員配置に取り組んでまいりましたが、令和7(2025)年度から3課体制(総務課・緑の推進支援課・業務課)による協会運営をスタートしました。また、令和7(2025)年度から川崎市緑化センターの指定管理者として5年間の事業運営を開始し、グリーンコミュニティに関する新規事業(グリーンコミュニティ講座・はなまちガーデンリポート事業等)を実施するとともに中間支援組織として新たな事業への取組(PPPへの参加等)を開始しました。グリーンコミュニティに関する新規事業では、ボランティアの活用を積極的に推進しました。人員配置については、プロバ職員1名(プロバ職員定年補充)、嘱託職員1名(指定管理事業要員)を採用し、令和6(2024)年度より1名の増員となりました。

評 価 (Check)									
業務・組織に関する指標			目標・実績	R3年度 (現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	常勤役職員の人数		目標値		20	17	17	17	人
	説明	年度当初の常勤の役員及び職員的人数	実績値	21	19	17	18	19	
指標1 に対する達成度			b	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)									
令和7(2025)年度から3課体制(総務課・緑の推進支援課・業務課)による協会運営をスタートしました。また、川崎市緑化センターの指定管理者として5年間の事業運営を開始し、グリーンコミュニティに関する新規事業(コミュニティガーデン入門講座・はなまちガーデンリポート事業等)を実施することができました。また、市のPPPプラットフォームセミナー等へも積極的に参加し、民間企業との連携による指定管理事業・パークPFI事業獲得に向けた準備を行うとともに中間支援組織として様々な事業にも対応ができる取組を開始しました。令和8(2026)年度以降も新規事業獲得への取組を行い、協会事業運営について所管局と協議を重ね、組織再編による人員配置及び採用計画の策定に取り組んでまいります。									

本市 による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った C	新規業務に必要最小限で対応できる体制を整えた結果、目標は達成できなかったものの、新たな指定管理業務を開始し、中間支援組織としての新たな事業の獲得に向けての取り組みを実施しているため。

改 善 (Action)			
実施結果 (Do) や評価(Check) を踏まえた 今後の取組の 方向性	方向性区分		方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	II	令和7(2025)年度に組織再編を実施し、指定管理事業や新規事業獲得への取組を継続して行うとともに所管局と令和8(2026)年度以降の協会事業運営について協議を重ね安定かつ持続可能な組織体制を構築してまいります。

法人(団体名)	公益財団法人川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局グリーンコミュニティ推進室
---------	-----------------	-----	--------------------